

人間国宝 あまたあきつく 天田昭次

●至芸の世界を歩み続ける刀剣作家

静寂の空間が漂うそのとき、鞘から引き抜かれた刀身の、澄みきった輝きが心を打つ。

黒く形もない鉄が、吸い込まれそうな清澄な光を放つ一振の刀剣となるまでには、人知れぬひとつの物語がありました。

刀づくりに一生涯をかけ、長年の努力が結実し、ついに重要無形文化財保持者（人間国宝）という最高名誉を極めた、刀剣作家・天田昭次（本名・誠一）氏。月岡の地で、なお全国各地の砂鉄を求め、たゆまぬ研鑽を続けながら日本刀の世界に敢然と挑み続けています。



●プロフィール

昭和 2 年 故天田貞吉刀匠の長男として本田村にて出生
 昭和 15 年 小学校卒業と同時に上京し、日本刀鍛錬伝習所に入門。7年間修行
 昭和 26 年 作刀第1号として日米講和条約記念刀を製作
 昭和 34 年 現状の作刀に疑問を感じ、自家製鉄の本格的な研究に入る
 昭和 49 年 新横綱北の湖の土俵入りの太刀を製作
 昭和 52 年 新作名刀展で「正宗賞」受賞
 昭和 53 年 新潟県無形文化財及び豊浦町無形文化財に

指定される
 昭和 60 年 新作名刀展で2度目の「正宗賞」受賞
 平成 2 年 全日本刀匠会理事長に就任
 平成 8 年 新作名刀展で3度目の「正宗賞」受賞
 平成 9 年 国の重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定。「豊浦町名誉町民」の称号が贈られる
 平成 11 年 勲四等旭日小綬章受章
 平成 15 年 7 月 「新発田市名誉市民」となる

新発田市歌 (昭和 22 年制定)

3	2	1
見よ新興の 意気もえて のびる自由の 商工都 下越のかなめ ゆるぎなき とわの栄を きずきゆく はえある わが市 大新発田	加治の流れの ゆたかにも みのりの沃野 うるおせば 文化の花の りょうらんと 開く城址に 人和して 幸よぶ わが市 大新発田	平和ほほえむ 新生の 光あまねき この朝 あおぐ飯豊の みねはるか 市民の理想 さんぜんと かがやく わが市 大新発田

関根ふみと／作曲
 石川和男／作詞

へ い わ ほほ え む し ん せ い の ひ
 か り あ ま ね き こ の あ し た あ
 お ぐ い い で の み ね は る か し み
 ん の り そ う さ ん ぜん と かが
 や く わ が し だ い し ば た

■ 名誉市民

氏名	認定年月	認定理由
坪川洹平	昭和 27 年 5 月	市立図書館を新築・寄贈
天田昭次	平成 15 年 7 月	前ページ参照

■ 新発田市・本庁舎の位置

新発田市の位置

北緯 37° 47' 17" ~ 38° 02' 58"

東経 139° 14' 30" ~ 139° 40' 55"

最北……藤塚浜

最東……東赤谷

最南……東赤谷

最西……佐々木

本庁舎の位置

北緯 37° 57' 03"

東経 139° 19' 40"

標高 9.56 m

■ 歴代市長

	氏名	就任	退任
初	高橋 平治郎	S22.4.5	S26.4.4
2	近 勇次	S26.4.25	S30.4.30
3	原 常一郎	S30.5.1	S34.4.29
4	〃	S34.4.30	S37.2.2
5	大沼 鉄男	S37.3.2	S41.12.2
6	〃	S41.12.2	S45.11.30
7	富樫 会	S45.12.1	S49.11.30
8	〃	S49.12.1	S53.11.30
9	近 寅彦	S53.12.1	S57.11.30
10	〃	S57.12.1	S61.11.30
11	〃	S61.12.1	H2.11.30
12	〃	H2.12.1	H6.11.30
13	〃	H6.12.1	H10.11.30
14	片山 吉忠	H10.12.1	H14.11.30
15	〃	H14.12.1	H18.11.30
16	〃	H18.12.1	

■ 歴代助役

	氏名	就任	退任
初	古田島 徳平	S22.6.24	S26.5.19
2	塚野 俊郎	S26.6.4	S28.6.29
3	野沢 順吉	S28.10.1	S32.9.30
3	伊花 才二	S30.7.5	S34.6.30
4	野沢 順吉	S32.10.1	S36.9.30
4	長谷川 弘	S35.10.1	S39.9.30
5	野沢 順吉	S36.10.1	S40.9.30
6	〃	S40.10.1	S44.9.30
7	池田 政男	S44.12.3	S45.12.31
8	五十嵐 喜一郎	S46.2.17	S50.2.16
9	〃	S50.2.17	S54.2.16
10	佐藤 留蔵	S54.3.24	S58.3.23
11	藤倉 庄平	S58.6.22	S62.6.21
12	〃	S62.6.22	H3.6.21
13	〃	H3.6.22	H7.6.21
14	遠藤 謙二	H7.9.7	H10.10.19
15	清田 幸雄	H10.12.8	H14.12.7
16	大山 康一	H15.2.7	H19.2.6
17	〃	H19.2.7	H19.3.31

■ 歴代収入役

	氏名	就任	退任
初	佐藤 克太郎	S22.9.8	S26.9.7
2	原 常一郎	S28.9.7	S30.4.1
3	二戸 章三	S35.10.1	S39.9.30
4	〃	S39.10.1	S43.9.30
5	〃	S43.10.1	S47.9.30
6	五十嵐 憲三	S47.10.1	S51.9.30
7	〃	S51.10.1	S54.2.28
8	菅原 孝一	S54.9.13	S58.9.12
9	〃	S58.9.13	S62.9.12
10	長谷川 成之	S62.9.13	H3.9.12
11	〃	H3.9.13	H7.3.31
12	池田 毅	H7.4.1	H11.3.31
13	宮坂 啓象	H11.7.1	H15.6.30
14	藤田 栄三郎	H15.7.1	H17.6.30
15	芹野 秀夫	H17.9.2	H19.5.31

■ 歴代副市長

	氏名	就任	退任
	大山 康一	H19.4.1	
	小川 弘	H19.10.1	

※収入役制度は、平成 19 年 3 月 31 日で廃止となった。

※助役は、平成 19 年 4 月 1 日から名称を副市長とした。

※副市長は、平成 19 年 10 月 1 日から 2 人制とした。

■ 新発田市のあゆみ

昭和 22 年 1 月 市制施行

昭和 23 年 3 月 市消防署開庁

4 月 5 つの新制高校発足

昭和 24 年 5 月 市役所職階制による給与体系実施

昭和 25 年 3 月 市公民館設立

(1950 年)

8 月 市内初の保育園開園。市営球場完成

昭和 26 年 2 月 国立新発田病院火災、第 1 病棟全焼

昭和 27 年 5 月 坪川洹平氏名誉市民となる

昭和 29 年 1 月 市消防署に火災専用電話 119 開設

4 月 「市政だより」第 1 号発行

9 月 市防犯組合結成

昭和 30 年 3 月 五十公野、松浦、米倉、赤谷、川東、菅谷の 6 村を合併

昭和 31 年 3 月 加治川村の一部を合併。国鉄白新線開通

4 月 第一中学校火災、一部焼失

昭和 32 年 6 月 新発田城表門、隅櫓、国の重要文化財に指定

昭和 33 年 7 月 集中豪雨で菅谷、佐々木に被害

昭和 34 年 4 月 佐々木村を合併。猿橋小学校開校

7 月 新発田城解体復元工事始まる

8 月 御免町小学校新校舎完成

昭和 35 年 4 月 新市域に置かれた支所が廃止され出張所に。

(1960 年)







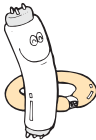








加治橋完成

	9月	台風18号市を襲う。被害大	平成元年	7月	五十公野公園あやめ園が「手作り郷土賞」を受賞。五十公野公園が「日本都市公園100選」に認定。建設省が加治川を桜づつみモデル事業に認定
昭和36年	9月	精神薄弱児施設いじみの学園完成		9月	新新バイパス全線開通
昭和37年	4月	市内初の信号機設置。江口で大火12戸全焼		10月	五十公野サン・スポーツランドオープン
	5月	市立体育館完成		11月	大韓民国議政府市と友好都市協定を締結
昭和38年	2月	豪雪による被害1億円に	平成2年	2月	村尻遺跡出土品ヒト形土器、壺形土器が県の有形文化財・考古資料に指定
昭和39年	3月	本丸中学校火災発生、特別教室焼失	(1990年)	3月	五十公野森林館完成
	4月	市役所庁舎全焼。国道7号新発田バイパス完成。町名変更		6月	旧県知事公舎記念館オープン
	6月	新潟国体で当市も会場に。天皇陛下来市。新潟地震発生		11月	しばた台輪が天皇即位記念日本まつりパレードに参加。韓国議政府市へ第1回職員研修派遣
昭和40年	11月	市役所新庁舎完成		12月	第1回市民表彰
昭和41年	7月	7.17水害発生	平成3年	3月	新発田東デイサービスセンター完成。清水谷庭園が県文化財記念物・名勝に指定
昭和42年	8月	8.28水害発生		4月	敬和学園大学開校。ボランティアセンターオープン
昭和43年	10月	広域ごみ焼却場、岡田に完成		7月	住吉コミュニティセンターオープン
	11月	勤労青少年ホーム完成		9月	印鑑登録証(カード)による印鑑証明書の発行開始
昭和45年	11月	足軽長屋、国の重要文化財に指定		10月	総合健康開発センターが厚生大臣賞を受賞
(1970年)				11月	石川県加賀市と友好都市協定調印。市社会福祉協議会が厚生大臣賞を受賞
昭和46年	5月	板山放牧場完成	平成4年	4月	新潟職業能力開発短期大学開校。五十公野公園野球場オープン
昭和48年	10月	休日救急診療所を開設		5月	ふるさと会館オープン
昭和49年	10月	内の倉ダム完成		8月	蒨谷虹児記念館が公共建築賞優秀賞受賞
昭和52年	7月	市民プール完成	平成5年	1月	高齢者レクリエーションセンターオープン
昭和53年	6月	6.26水害発生		2月	市消防団が日本消防協会から特別表彰「まとい」受賞
昭和55年	3月	加治、菅谷中学校閉校		4月	訪問看護ステーション、在宅介護支援センターオープン。市立図書館で本の貸し出し等に電算機利用開始。県植樹祭が五十公野公園で開催
(1980年)	4月	市民文化会館・公民館完成。七葉中学校開校		6月	滝谷森林公園一部オープン
昭和56年	3月	下中山、菅谷、石川小学校閉校		10月	生涯学習センターオープン。廃棄物減量等推進員を設置。厚生省の「健康文化と快適な暮らしのまち創造プラン事業」に指定
	4月	統合「菅谷小学校」開校		12月	勤労者福祉センター(サン・ワークしばた)オープン
	6月	水害発生	平成6年	8月	新発田温泉「あやめの湯」オープン
	8月	日韓スポーツ交流で訪韓団を派遣	平成7年	1月	松浦小学校が全国交通安全優良校として表彰
	10月	皇太子、同妃両殿下を迎え「市民の幸せを考える集い」開催		4月	新発田北デイサービスセンターオープン。新潟県北部地震発生
昭和58年	4月	新発田商工高校が南高校と商業高校に分離。二市北蒲原郡総合健康開発センター、市保健センター完成		6月	アメリカ合衆国アイオワ州オレンジシティと姉妹都市協定調印。赤谷サイクリングロードが全国街路事業コンクールで特別賞受賞
	10月	厚生省のヘルスパイオニアタウン事業に指定を受ける		7月	自転車等放置防止及び自転車等駐車場条例施行
	11月	市公民館が優良公民館活動で文部大臣賞受賞		10月	在宅福祉事業功労で厚生大臣表彰を受ける
昭和59年	3月	国鉄赤谷線廃止。中野賞制定		11月	新発田川放水路暫定通水
	4月	タウンホームのぞみ工房、のぞみの家完成			
	5月	農業研修センター完成。五十公野公園野外活動施設オープン。市健康づくり推進協議会が総理大臣賞受賞			
	8月	駅地下道完成			
	10月	カルチャーセンターオープン			
	11月	新発田川放水路着工。新市立図書館オープン。新発田食品工業団地完成			
昭和60年	4月	特別養護老人ホーム「二の丸」完成			
昭和62年	3月	荒川小学校、松浦小学校閉校			
	4月	統合「松浦小学校」開校			
	5月	常陸宮、同妃両殿下を迎え、当市で「全国野鳥保護のつどい前夜祭」開催			
	7月	蒨谷虹児記念館オープン。市の花にアヤメ、市の木にサクラを制定			
昭和63年	4月	東豊小学校開校			
	11月	水道局庁舎完成			

- 平成 8 年 1 月 住民参加によるまちづくり部門で自治大臣表彰を受ける
- 2 月 韓国議政府市と第 1 回友好都市市制発展研究会開催
- 3 月 正保越後国絵図、古絵図 3 点が県有形文化財古文書に指定
- 7 月 滝谷森林公園宿泊棟オープン
- 11 月 二市北蒲はいかいシルバー SOS ネットワーク通信開始
- 12 月 新発田女性会議設立
- 平成 9 年 3 月 人権擁護都市宣言
- 4 月 隣保館オープン
- 6 月 サン・ビレッジしばたオープン。市制施行 50 周年記念式典開催。第 4 回世界・第 40 回全日本花いっぱい大会開催。第 10 回全国あやめサミット開催。防災安全都市宣言、核兵器廃絶平和都市宣言
- 10 月 エフエムしばた開局。坂ノ沢 C 遺跡から石斧やたて穴住居、石器群発掘
- 11 月 市保健自治会が自治大臣表彰を受ける
- 平成 10 年 3 月 「コモタウン」オープン
- 4 月 学校給食北共同調理場オープン。市庁舎時間禁煙実施。新発田広域クリーンセンターオープン。安兵衛の松 2 世植樹
- 5 月 忠臣蔵サミット開催。城下町伝統文化展開催
- 6 月 「城下町新発田 400 年のあゆみ」発刊。市緑・花振興局協会が内閣総理大臣表彰を受ける
- 7 月 市防災協会設立
- 8 月 市水道創設 70 周年記念「水道フェスティバル」開催。8.4 水害発生。野外劇「この豊かな大地の讃歌」公演
- 9 月 新発田藩初代藩主ブロンズ像建立
- 10 月 全国「花嫁人形」合唱コンクール、全国「花嫁」手紙コンクール開催
- 11 月 露谷虹児記念館が「公共建築百選」に
- 平成 11 年 2 月 新発田育英会学生寮竣工
- 4 月 学校給食川東共同調理場オープン。市情報公開条例、市個人情報保護条例施行。市都市マスタープラン完成。佐々木コミュニティセンターオープン
- 5 月 知的障害者授産施設「希望の家」竣工
- 7 月 市下水道事業審議会スタート
- 8 月 旧市営野球場用地と新発田駐屯地営前訓練場用地一部交換。武家屋敷を市の文化財に指定
- 10 月 韓国議政府市との友好都市協定 10 周年記念事業開催
- 11 月 家庭ごみ収集有料化スタート。しばた台輪が天皇陛下御即位 10 周年奉祝祝賀パレードに参加
- 平成 12 年^(2000 年) 1 月 新発田温泉「あやめの湯」入場者 50 万人達成
- 2 月 県立新発田病院整備促進期成同盟会設立
- 3 月 御免町幼稚園新園舎完成。新発田川放水路事業完成。市勤労青少年ホーム閉館
- 4 月 新発田南デイサービスセンターオープン
- 5 月 市行政改革推進本部設置
- 6 月 粗大ごみ戸別収集・白色トレイの店頭回収開始。市自治会連合会設立
- 8 月 広島平和記念式典に中学生 3 人派遣。大相撲新発田場所開催。住吉町花と緑の会が緑化推進運動功労者として内閣総理大臣表彰を受ける
- 9 月 市まちづくり総合計画基本構想完成。市防災フェスティバル 2000 開催
- 10 月 環境美化推進条例施行
- 11 月 羽越本線新幹線直通促進新潟地区期成同盟会設立
- 平成 13 年 2 月 市ホームページ改訂。市長への手紙、市政懇談会開始。市行政改革推進計画策定
- 3 月 市まちづくり総合計画基本計画・実施計画策定。市農村マスタープラン策定。猿橋小学校新校舎竣工
- 4 月 市総合健康福祉センター「いきいき館」オープン。環境基本条例制定。「新潟 2001 年宇宙の旅」に 3 台の金魚台輪が参加
- 6 月 旧赤谷線「歴史探勝の道」全線開通
- 7 月 市民ギャラリーオープン
- 10 月 米倉ふれあいロードパーク「ねむの木広場」オープン
- 11 月 県営大規模湛水防除事業新発田Ⅰ、Ⅱ期地区県営かんがい排水事業五十公野地区竣工。市環境率先実行計画～エコシフト 21～策定。諏訪神社焼失
- 平成 14 年 4 月 御幸町ふれあいコミュニティセンターオープン。新発田中央公園幼児ゾーンオープン
- 5 月 高速道路日本海東北自動車道「新潟空港 IC～聖籠新発田 IC」区間開通
- 7 月 五十公野公園陸上競技場「グリーンスタジアムしばた」竣工
- 9 月 新発田市・豊浦町合併協議会設置
- 10 月 高速道路日本海東北自動車道「聖籠新発田 IC～中条 IC」区間開通。新発田市公共下水道供用開始
- 平成 15 年 2 月 県立新発田病院、リウマチセンター、附属看護専門学校の基本設計概要発表。市ファミリーサポートセンター開設
- 4 月 「新発田駅前・中心市街地活性化地区移動円滑化基本構想」策定。精神障害者授産施設「夢工房しば草」オープン。新発田城三階櫓・辰巳櫓上棟式、上棟祭開催。豊町ふれあいコミュニティセンター、猿橋コミュニティセンターオープン
- 6 月 清水園庭園・五十公野御茶屋庭園国指定名勝に指定
- 7 月 豊浦町と合併。名球会“あなたのまちに名球

- 会がやってくる”新発田大会開催
- 9月 新発田温泉あやめの湯足湯オープン
- 平成 16年 12月 新発田市・紫雲寺町・加治川村合併協議会設置。新発田駅前土地区画整理事業開始
- 2月 県立新発田病院移転建築工事着工
- 3月 新発田南バイパス開通
- 4月 新発田城址公園リニューアルオープン。地域交流センター(きやり館)オープン。滝谷森林公園対岸デイキャンプ場オープン
- 5月 まちづくり出前講座開始
- 6月 新発田城三階櫓・辰巳櫓完成記念事業「城下町しばた文化の祭典」開催
- 7月 新発田城三階櫓・辰巳櫓開場式開催。新発田市菓「あやめ城・三階櫓」販売開始。新発田城三階櫓・辰巳櫓完成記念事業「ページェントしばた2004～道学共創～」開催。「しばたっ子台輪」完成・お披露目パレード
- 平成 17年 11月 商工会議所分館「まちの駅」オープン
- 1月 新発田城三階櫓・辰巳櫓完成記念事業「城下町しばた全国雑煮合戦」開催
- 3月 杉山義法氏追悼公演「よろけ養安」公演
- 4月 地域交流センター屋内ホール(あおり館)オープン
- 5月 紫雲寺町・加治川村と合併。紫雲寺町よりアメリカ合衆国ミズーリ州セントジェームズ市、長野県須坂市、加治川村より韓国全谷邑との友好都市・姉妹都市協定を継承
- 6月 米倉有機資源センター、加治川有機資源センター完成
- 7月 三国コカ・コーラボトリング(株)と災害救援協定締結。板山有機資源センター完成
- 10月 「景観行政団体」に認定
- 平成 18年 1月 佐藤食品工業(株)、(株)伊藤商店と災害救援協定締結
- 2月 NPO法人新発田市総合型地域スポーツクラブ発足。新発田城が「日本100名城」に選ばれる
- 3月 城下町しばたもちもち会発会。西新発田五十公野線の一部(本町～東新町)開通
- 4月 新発田市まちづくり総合計画・中期基本計画、新発田市行政改革推進計画(後期計画)策定。寺町たまり駅、中央町たまり駅、諏訪町たまり駅オープン。地域包括支援センター(中央・東・西・南・北の5か所)設置。有機の里交流センターオープン。菅谷コミュニティセンターオープン。学校給食西共同調理場完成
- 7月 イオン(株)ジャスコ新発田店、県石油商業組合北蒲原支部新発田支会、県LPガス協会新発田支部、NPO法人コメリ災害対策センターと災害救援協定締結。「しばたっ子食農給食特区」に認定
- 9月 「広報しばた」有料広告掲載開始
- 10月 コミュニティバス運行開始。新発田城址公園が「日本の歴史公園100選」に選ばれる。城下町しばた歴史ウォーク開催
- 平成 19年 11月 県立新発田病院が移転開院。「まちの駅よろず新発田学研究センター」オープン
- 1月 第1回健康づくり大学開催。市所蔵アートコレクション展開催
- 3月 「新発田市観光振興基本計画」策定
- 4月 「市民参画と協働による新発田市まちづくり基本条例」施行。地域交流センター・紫雲の郷館指定管理者制度導入。幼保一元化施設「西園すこやか園」オープン
- 5月 「新発田市ハザードマップ」作成。養護老人ホーム「あやめ寮」移転オープン
- 6月 「新発田あんしんメール」配信サービス開始。緊急告知FMラジオ装置配備開始。紫雲の郷館入館者100万人達成
- 7月 市ホームページ改訂。コミュニティバスに有料広告掲載開始。「食のアスパラ横丁 味めぐり」実施
- 8月 市ホームページに有料広告掲載開始。食のまちづくり・しばたりレートーク開催。新発田駅前広場オープン
- 10月 市立図書館の運営業務を一部委託。石崎家住宅「石泉荘」が登録有形文化財に認定
- 11月 しばたっ子わくわく通学合宿開始。入れ歯回収ボックス設置
- 12月 市都市マスタープラン改訂
- 平成 20年 2月 竹ヶ花地区の蚤取橋・神明裏遺跡から丸木梯子・剣形木製品など出土。新発田温泉あやめの湯入館100万人達成
- 3月 「新発田市景観計画」策定。市農村マスタープラン改訂。加治川・中川・新金塚小学校閉校。三の丸・清水谷・南保育園閉園。中倉保育所閉所
- 4月 加治川・中川・新金塚小学校が統合し「加治川小学校」が開校。優の森保育園開園。「観光イベントバス」運行開始。コメリパワー新発田店と災害救援協定締結
- 5月 月岡温泉月姫広場に足湯完成
- 6月 電子申請システム稼働。公共施設予約システム稼働

市民の暮らし

出生	死亡	転入	転出	結婚
 <p>1日あたり 2.1 人 (H19 年度 742 人)</p>	 <p>1日あたり 3.1 人 (H19 年度 1,112 人)</p>	 <p>1日あたり 7.3 人 (H19 年度 2,651 人)</p>	 <p>1日あたり 8.4 人 (H19 年度 3,035 人)</p>	 <p>1日あたり 1.3 組 (H19 年度 459 組)</p>
離婚	電気消費量	上水道使用量	都市ガス使用量	交通事故発生件数
 <p>1日あたり 0.5 組 (H19 年度 187 組)</p>	 <p>1戸あたり361.9KWH/月 資料提供 東北電力株新発田営業所</p>	 <p>1日あたり 2 万 977 m³ (H19年度767万7,795m³) ※一般家庭用</p>	 <p>1日平均 13 万 9166 m³ ※全業種 資料提供 新発田ガス株</p>	 <p>1日あたり 1.5 件 (H19 年 550 件)</p>
火災発生件数	し尿収集量	家庭ごみ収集量	個人市民税	医院・病院数
 <p>1か月あたり 2.8 件 (H19 年 33 件)</p>	 <p>1日あたり 59.8 kℓ (H19年度2万1,825kℓ)</p>	 <p>1日あたり 69.8 t (H19年度2万5,462 t)</p>	 <p>1人あたり 4 万 47 円 (H19 年度)</p>	 <p>市民 1,433 人に対し 1 施設 (H20.4.1 現在)</p>